

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
貯蔵品・・・最終仕入原価法による原価法を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産・・・定率法を採用している。
- (3) 引当金の計上基準
退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、期末退職給付の要支給額に相当する金額を計上している。
- (4) リース取引の処理方法
リース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外のファイナンスリース取引については、引き続き賃貸借取引に準じた会計処理によっている。
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	5,515,000	771,000	-	6,286,000
特別寄付金引当資産	165,436	-	10,800	154,636
小 計	5,680,436	771,000	10,800	6,440,636

3 特定資産の財源の内訳

特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対する対応額)
特定資産				
退職給付引当資産	6,286,000	-	-	(6,286,000)
特別寄付金引当資産	154,636	(154,636)	-	-
小 計	6,440,636	(154,636)	-	(6,286,000)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
楽器等	418,117	418,109	8
建物	21,598,488	14,373,268	7,225,220
什器備品	6,844,369	6,763,304	81,065
合 計	28,860,974	21,554,681	7,306,293

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
夏休みこども能狂言体験教室補助金	神戸市	-	50,000	50,000	-	-
ひょうごのふるさと芸術文化活動推進事業	兵庫県	-	450,000	450,000	-	-
子ども伝統文化わくわく体験教室	兵庫県	-	840,000	840,000	-	-
ひょうごのふるさと芸術文化活動推進事業	兵庫県	-	120,000	120,000	-	-
キャリアアップ助成金	東京労働局	-	500,000	500,000	-	-
次代の文化を創造する新進芸術家育成事業	文化庁	-	1,375,077	1,375,077	-	-
都民芸術フェスティバル	公益財団法人東京都歴史文化財団	-	3,703,000	3,703,000	-	-
東京芸術文化創造発信助成	公益財団法人東京都歴史文化財団	-	360,000	360,000	-	-
舞台芸術創造活動活性化事業	独立行政法人日本芸術文化振興会	-	386,000	386,000	-	-
次代の文化を創造する新進芸術家育成事業	文化庁	-	12,383,272	12,383,272	-	-
次代の文化を創造する新進芸術家育成事業	文化庁	-	6,963,056	6,963,056	-	-
舞台芸術創造活動活性化事業	独立行政法人日本芸術文化振興会	-	1,263,000	1,263,000	-	-
合 計		-	28,393,405	28,393,405	-	-

6 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	5,515,000	771,000	0	0	6,286,000

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
目的達成による指定解除額	10,800
合 計	10,800